

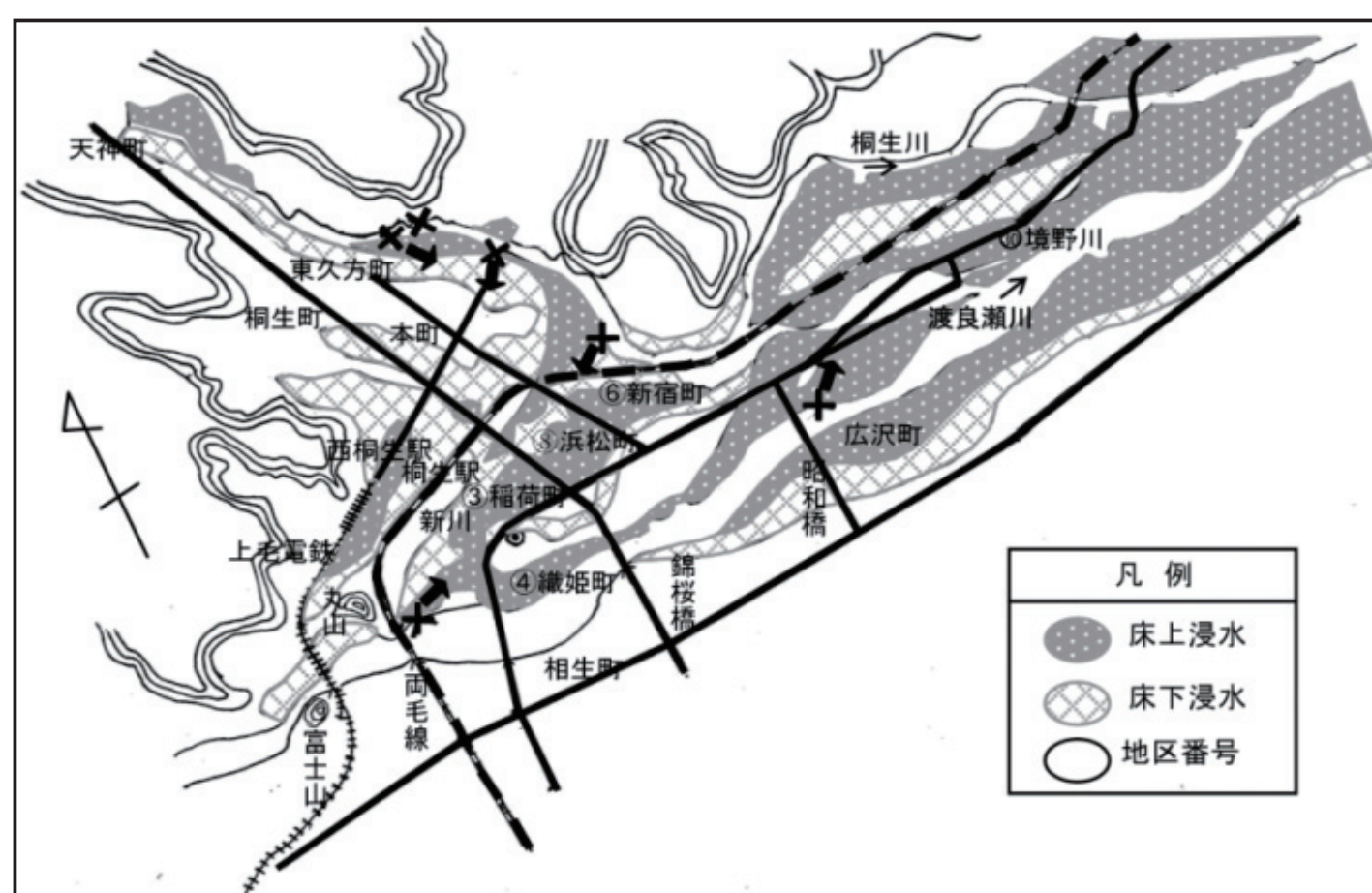
利根川下流および 渡良瀬川の河川災害

浸水面積は17万7,000haに及んだ

利根川中流部の左支川早川、石田川の合流点直前左岸堤寄りの氾濫流により群馬県邑楽郡一帯は甚大な浸水被害に見舞われました。この洪水により、群馬県の桐生市、栃木県の足利市を流れる渡良瀬川流域では709人が犠牲者となりました。また、家屋の浸水約30万戸、田畑の浸水面積17万7,000ha余りという規模の被害となりました。

渡良瀬川流域においても各地先で決壊が生じました。この洪水による出水は、下流の早川田では $3,820\text{m}^3/\text{s}$ を観測しました。越水決壊した直下流の岩井地先では、計画高水位を1.75mも越える出水となっています。

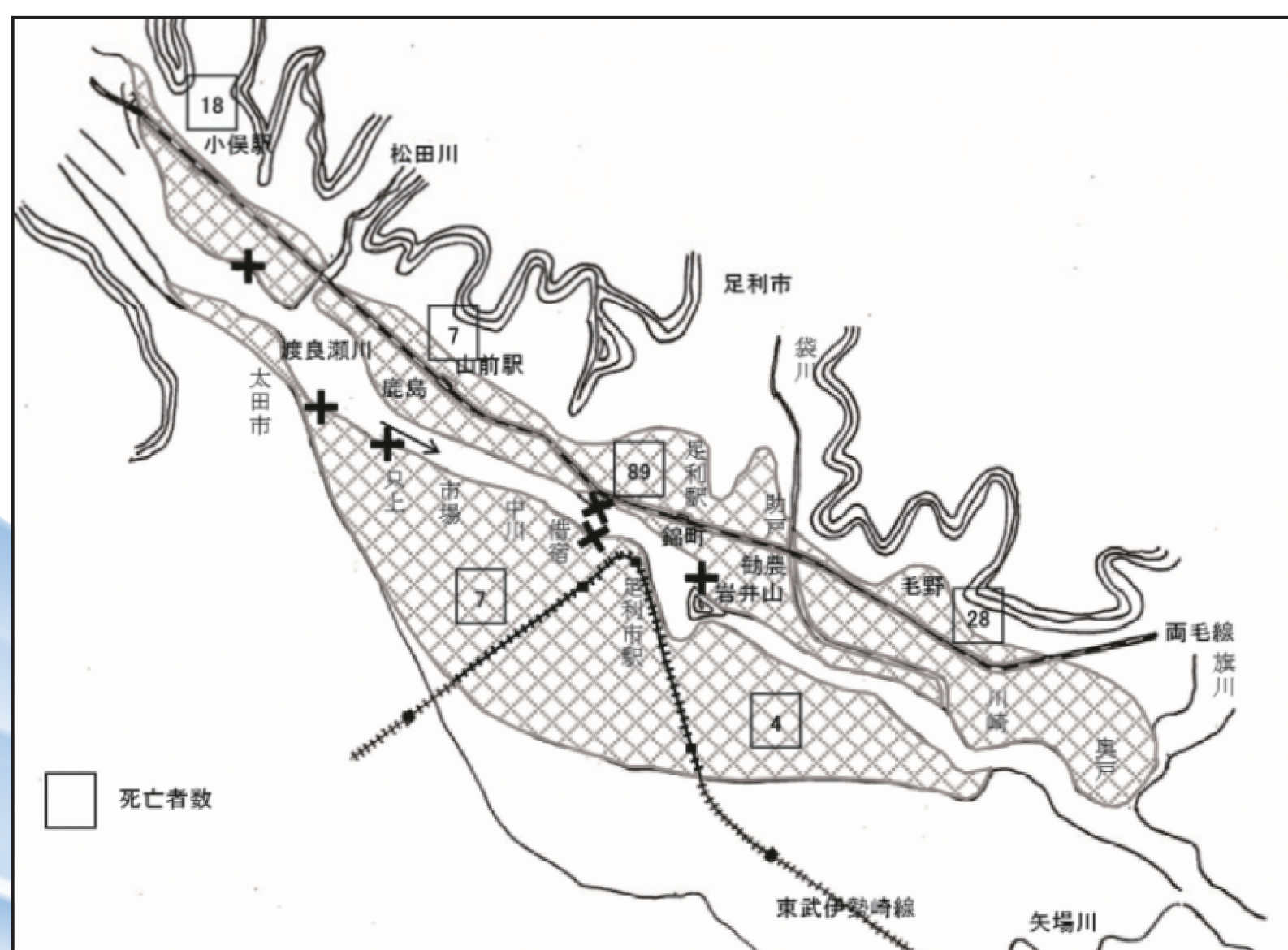
桐生市内では、桐生川筋の中里橋付近より旧堤を越流決壊し、濁水は桐生市街地に入りました。また、渡良瀬川は、両毛線鉄道橋下流より市街地内に流入し、桐生市西南部で桐生川と合流、各地域に被害を与えました。



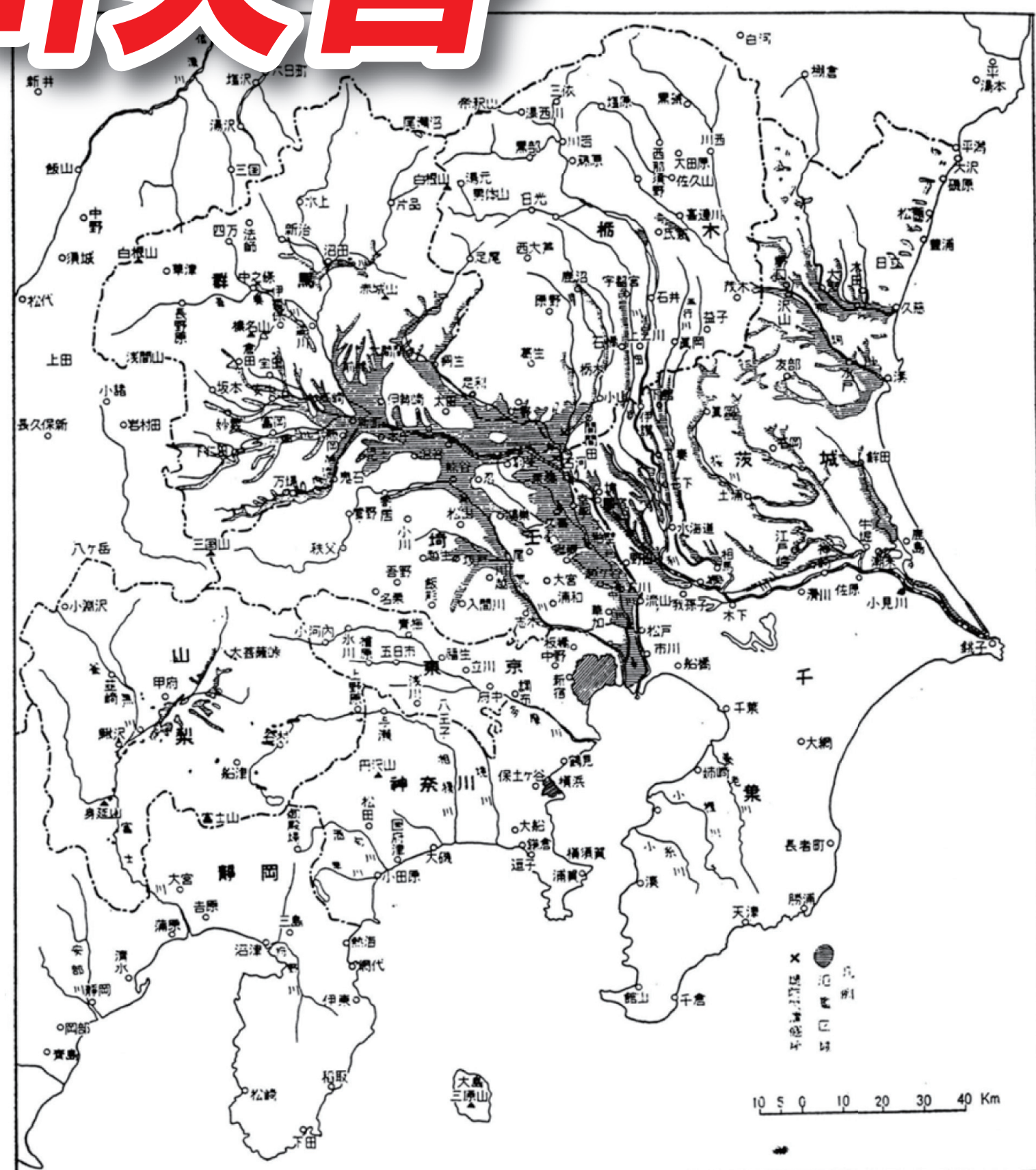
●桐生市市街地氾濫状況図
 (出典：1947 カスリーン台風報告書 内閣府)
 (※元資料：桐生市史、1961より作図)

足利市地域においては、同市西南部旧堤を越流し、全市に渡って浸水しました。これは中里橋下流側より流入した濁流と合流して岩井北部を東流し、毛野地先で支川袋川の決壊流水と合流し両毛線に沿って流下、各所で堤防・水制・護岸に被害を与えて渡良瀬川に流入しました。

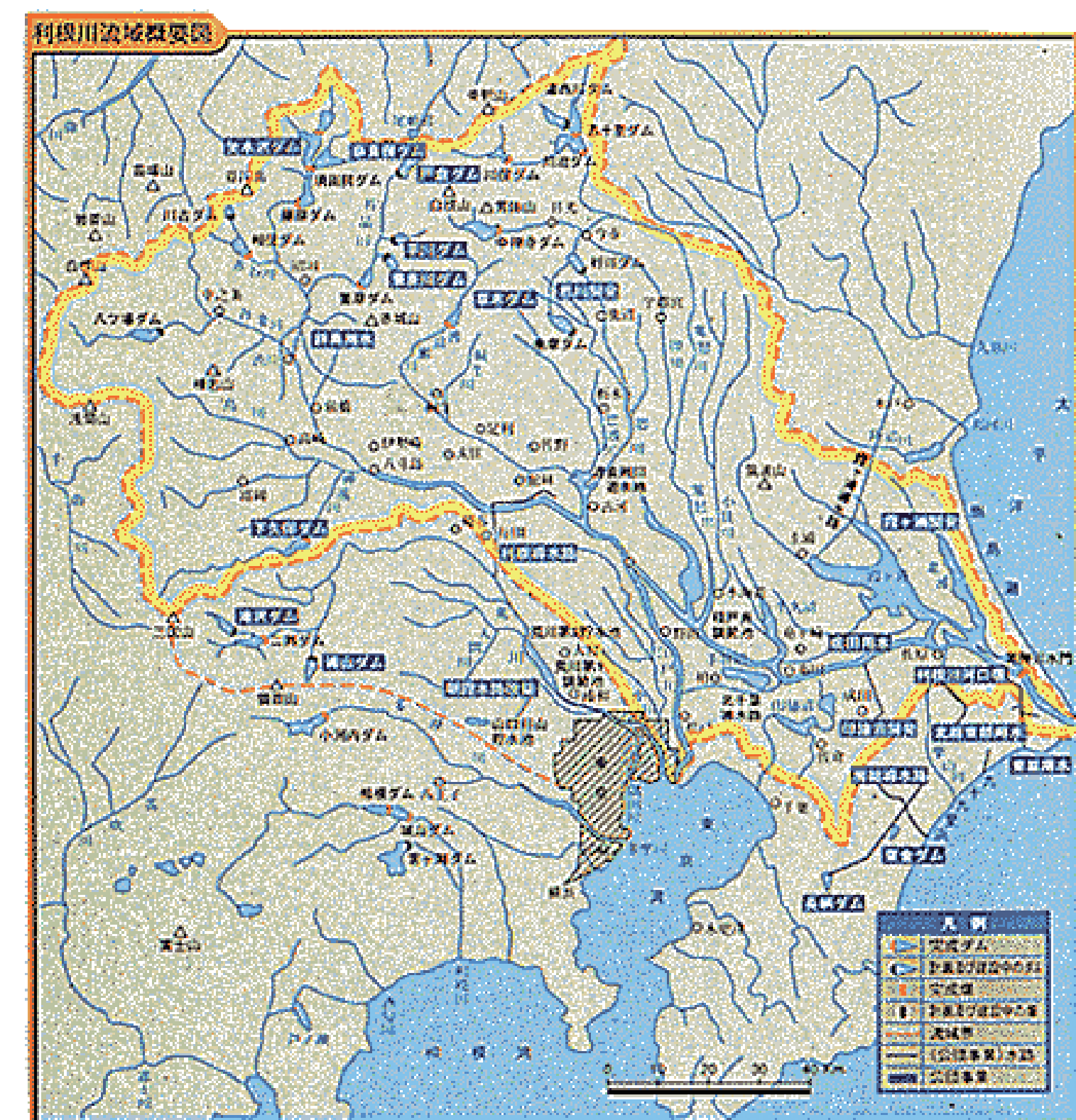
さらに渡良瀬川下流では、利根川本川の急激な水位の上昇により利根川の洪水流量は一時遊水地へ逆流し、これに渡良瀬川流域で生じた豪雨で流入してくる洪水により、遊水地周辺の堤防は越流し始め、周辺の決壊箇所は13ヶ所に及びました。



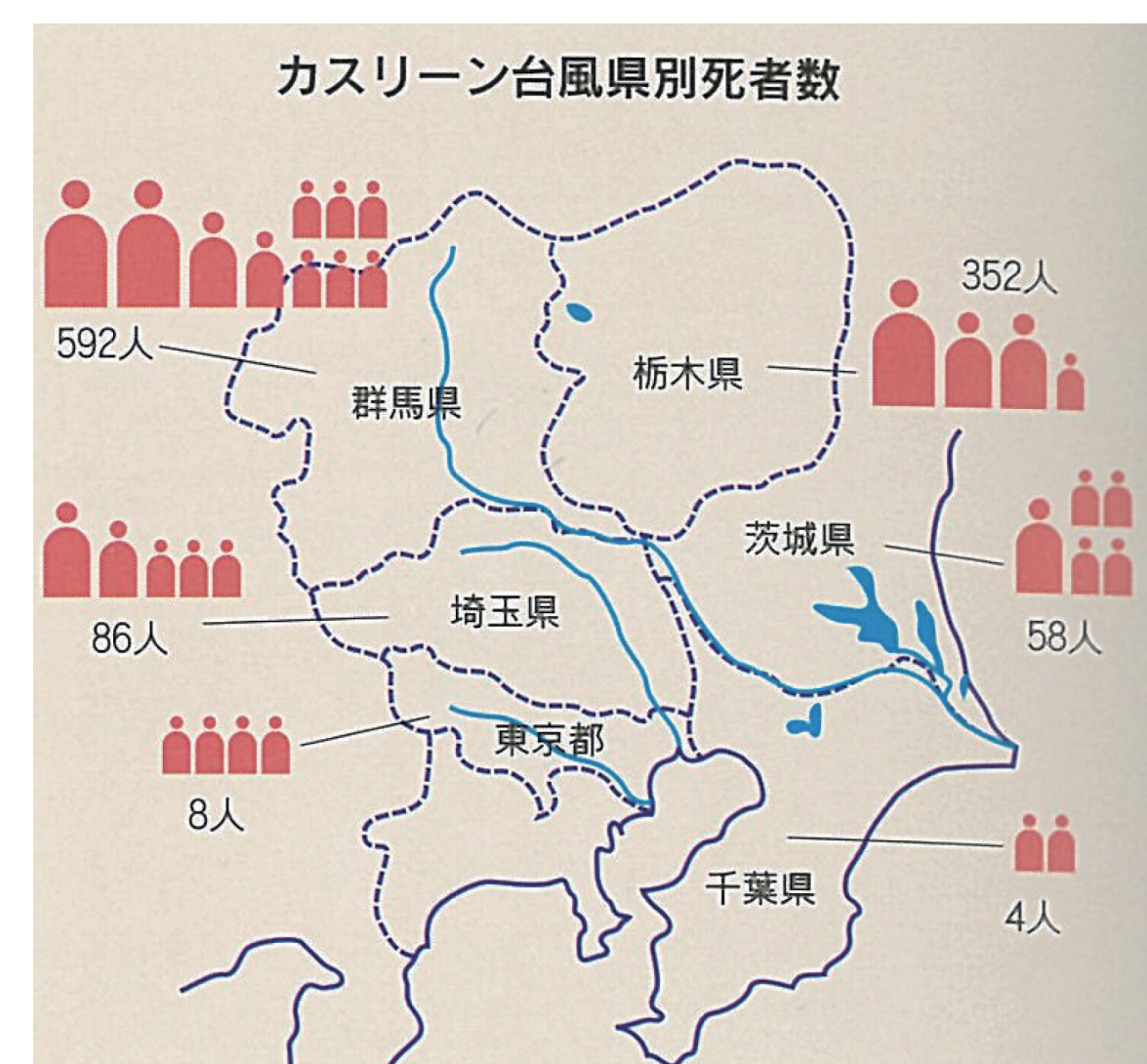
●足利市内氾濫状況図
 (出典：1947 カスリーン台風報告書 内閣府)
 (※元資料：渡良瀬川河川事務所、「カスリーン災害記録集」)



●昭和22年9月洪水浸水区域図
 (出典：利根川の22年災害を顧みて、1957)



●昭和22年9月洪水浸水区域図
 (出典：利根川の22年災害を顧みて、1957)



●カスリーン台風での県別死者数
 (出典：「写真と新聞で見るカスリーン台風」、上毛新聞社
 (元データ：内閣府 防災情報 平成22年度 広報ぼうさい))